

日米友好の木 ハナミズキを植樹

ホテルと石橋の里公園
(上陽町)



園児と一緒にハナミズキを植樹するユーリー・フェッジキフ首席領事と市長



(上)在福岡米国領事と園児が水をかけました
(下)子どもたちとハイタッチでふれあい

日米友好の木 桜とハナミズキ



日米友好の木ハナミズキ・イニシアチブは官民共同のパートナーシップによって実施されているもので、約100年前に日本からワシントンD.C.に3千本の桜の木が贈られたことに対するお礼として、合計3千本の北米産のハナミズキの苗木が日本各地に植樹されている。アメリカに贈られた桜は大切に育てられ、ワシントンD.C.のボトマック川沿いでは毎年、全米桜祭りが開催されている。

雲一つない秋晴れの中、ハナミズキ植樹記念式典には、市関係者と故ダニエル・ケン・イノウエ氏の関係者、在福岡米国領事館関係者、福岡県関係者、地元つくし幼稚園の子どもたち40人が参加しました。三田村市長は「日系米国人として数々の功績を残し、日米の友好親善に尽力されたダニエル・ケン・イノウエ氏の故郷・八女にハナミズキを植樹できることは誇り。今後日米友好の象徴として末永く愛されることを願っています」とあいさつ。在福岡米国領事館

のユーリー・フェッジキフ首席領事は「100年の間に悲惨な歴史もありましたが、それを超える二国間の絆はより崇高な結びつきとなりました。日米友好のハナミズキは毎年美しい花を咲かせ、この地を多くの人たちが訪れてくれることを願います」とあいさつ。その後、園児も一緒に記念植樹が行われました。園児たちが歌を歌い、式典に花を添えました。友好と平和のシンボルとなるハナミズキが、八女の地で大きく育ち花を咲かせるのが楽しみです。

日米友好の木ハナミズキの植樹式が10月22日(木)、八女市ホテルと石橋の里公園でありました。これは今から約100年前、日本からアメリカへ3千本の桜の苗木を贈ったことを記念し、アメリカからハナミズキの苗木3千本が日本へ贈られたものです。アメリカ上院議員だった故ダニエル・ケン・イノウエ氏の祖先が上陽町出身であったことから、八女市には30本が寄贈されました。



1959年上陽町役場前で、小川秀木町長はじめ町の幹部と(前列中央がダニエル・ケン・イノウエ氏)



ダニエル・ケン・イノウエ氏

1924 - 2012

1924年9月7日ハワイ州ホノルル生まれ。祖父母・父は八女郡横山村(上陽町)出身。日系2世。ハワイ大学在学中に太平洋戦争勃発。日系人部隊「第442連隊戦闘団」に配属され、イタリア戦線で右腕を失うがその働きにより数々の勲章を受章し、英雄と讃えられる。1962年ハワイ州から連邦上院議員に初当選。以後連続9回当選。上院議員最古参で上院議長代行の地位にあった。1999年「勲二等旭日大綬章」受章。2000年大統領令から軍人に贈られる最高位の名誉勲章を受章。日米友好の架け橋となった氏に、2011年春の叙勲では外国人が受章する最高位の勲章「桐花大綬章」が日本政府から贈られる。平成24年の九州北部豪雨災害に対し、お悔やみ声明を出している。祖父から教わった「義務」と「名誉」を生涯貫き、2012年12月17日死去。88歳